

<b>東芝ライテック(株)鹿沼工場 サイトレポート情報</b>	
所在地	栃木県鹿沼市さつき町1丁目1番地
敷地面積	151,513m <sup>2</sup> 、建家面積:39,470m <sup>2</sup> 、緑化率22.0%
設立	1972年7月、従業員:426人(2011年3月現在)
主要製品	蛍光灯(直管・環型)・コンパクト形蛍光灯・LED電球・COB
ISO14001認証取得	1996年10月、最新更新年月:2008年10月 (ISO認証番号:EC99J2026)



**ごあいさつ**

東芝ライテック(株)鹿沼工場は、世界遺産にも登録されている《日光》の南方に位置し、工場からは男体山が望めます。高速道路ICに隣接した立地条件の中で事業を展開しています。工場では、東芝のDNAの源流である照明製品(蛍光灯・コンパクト形蛍光灯・LED電球)の製造をしています。また、環境保全活動にも全従業員一丸となって取り組んでいます。



環境事務局責任者 簗輪 衛

**2010年度の環境の主な取組み**

- ☆ISO14001環境マネジメントシステム  
2009年10月に本社との拡大認証取得(JACO)
- ☆環境保全体制の充実  
法令、条例の順守。現場管理の強化。
- ☆化学物質排出量の削減  
化学物質の排出量、前年度と比べて、3%増加(目標50%削減)
- ☆CO2排出量削減  
CO2(エネルギー)の生産高原単位を、前年度と比べて、9%削減(目標2%削減)
- ☆廃棄物ゼロエミッションの継続  
廃棄物総発生量の生産高原単位を、2000年度と比べて、33%削減(目標20%削減)。  
最終処分率は0.012%
- ☆資材取引先に関する環境配慮  
取引先環境保全評価の実施(10社)、廃棄物委託先現地確認(8社)
- ☆全員参加・啓発活動の展開  
環境月間・3R月間・省エネ月間による環境啓発活動、環境ニュースの発行。
- ☆地域社会との強調  
地域社会への各種環境行事の参加(27件)、清掃ボランティア(4回)。

**製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介**

蛍光灯(直管・環型)・コンパクト形蛍光灯・LED電球・COB



**環境コミュニケーションの紹介**

- ・環境報告書の発行:1回/2年(東芝ライテック(株)として)
- ・地域との交流:鹿沼工業団地環境衛生部会の工場見学会(1回参加)  
:北犬飼コミュニティーセンター内、東武新鹿沼駅構内(当社製品の展示)  
:工場見学者受入(369名/年)
- ・自治体等主催行事参画:(社)栃木県産業環境管理協会主催の工場見学研修会(2回)、法令説明会等(4回)  
ブラックイルミネーション2010、チームマイナス6%への参画

## 東芝ライテック株式会社環境方針

東芝ライテック株式会社は、東芝グループ環境基本方針である「“かけがいのない地球環境”を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立ち、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境活動により、持続可能な社会の実現に貢献します。

当社は、ランプ、照明器具、システム機器の製品開発、製造、販売、サービスのあらゆる面において、環境保全活動を技術的、経済的に可能な範囲で次により推進します。

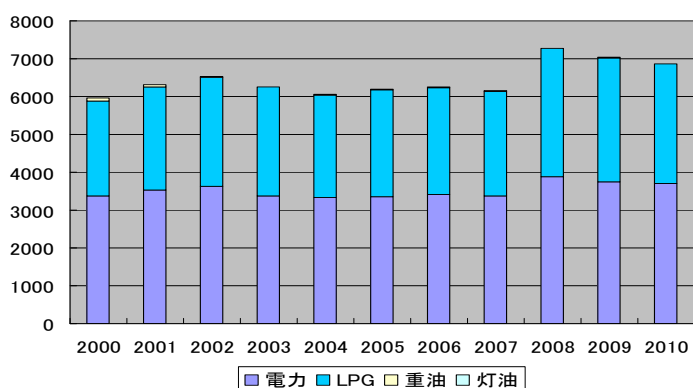
1. 環境への取り組みを経営の最重要課題の一つとして位置付け、監査の実施や活動のレビューにより環境経営の継続的な改善を図り、各地区の従業員で業務を行うすべての人に周知し取り組みます。
2. 環境側面に関する法律、規制および当地区が同意するその他の要求事項の遵守は最低限の責務との立場に立ち、汚染の予防を図るためより厳しい自主基準を定めて管理します。
3. 地球資源の有限性を認識し、製品、事業プロセスの両面から有効な利用、活用を促進すると共に、ライフサイクルを通じて環境負荷低減に寄与する環境調和型製品・サービスを提供します。
4. 事業活動、製品サービスに関わる環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、環境負荷の低減、汚染防止などに関する環境目的および目標を設定し環境活動を推進します。
5. 各地区が行う業務活動が環境に与える影響の中で、特に以下の項目について、優先的に環境保全活動を推進します。
  - (1) 環境調和型製品の提供において、LED照明を始めとする高効率照明の普及・拡販に努めます。また、製品含有有害物質に関する法令遵守および代替、削減を推進します。
  - (2) 地球温暖化防止の認識の基に、全ての設備の運転管理の徹底、設備小改善等により、電気、天然ガス等についてCO<sub>2</sub>排出量の削減等を推進します。
  - (3) 水質・騒音等にかかわる施設については管理の徹底、設備改善等を行い環境に与える影響を最少にするとともに事故等の予防措置に努めその訓練を行います。
  - (4) 限りある天然資源を守るために、廃棄物総発生量の抑制及び分別の見直し、ガラス屑など産業廃棄物の分別の徹底を図りゼロエミッションを継続します。
  - (5) 生産活動で環境に負荷を与える化学物質（酢酸ブチル、硫酸、硝酸、鉛化合物等）については、徹底した管理を行うとともに、代替えへの転換、削減、回収等を行います。
6. 取引先への指導・支援を行うとともに、地域社会とのコミュニケーションを継続的にを行い、地域への貢献を図ります。

平成23年 4月1日 改正  
東芝ライテック株式会社  
取締役社長 福田 正巳

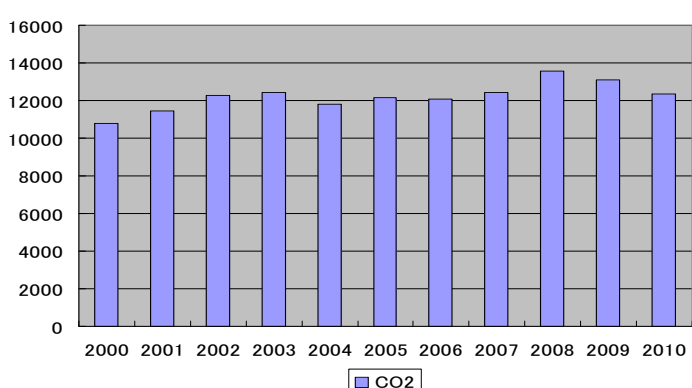


環境負荷データ

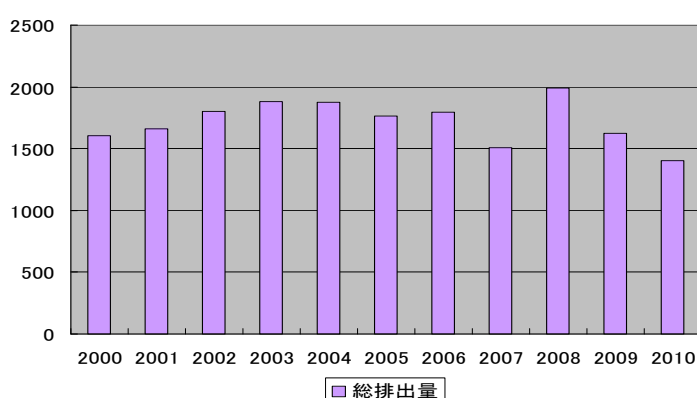
エネルギー使用量(単位:KL)



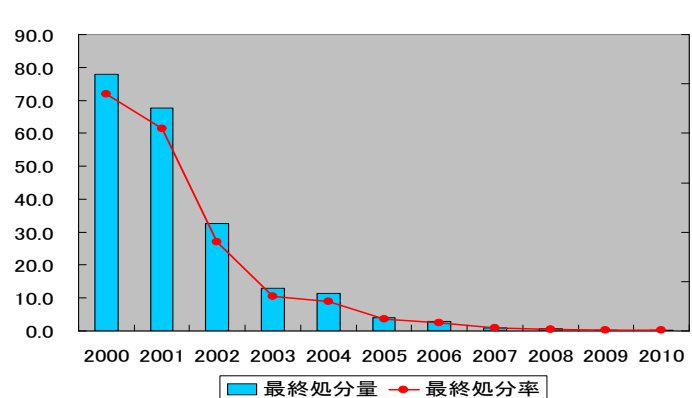
CO<sub>2</sub>排出量(単位:トン-CO<sub>2</sub>)



廃棄物総発生量(単位:トン)

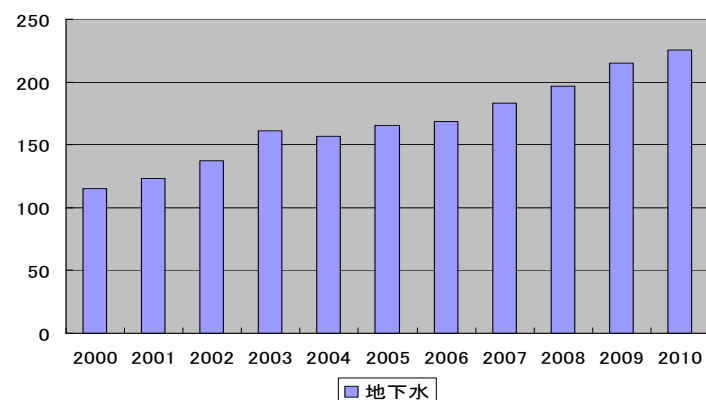


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

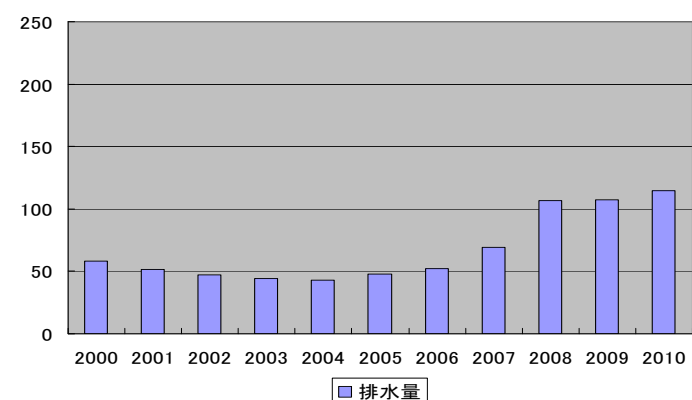


主な廃物名: ガラス、紙、金属、プラスチック、汚泥等

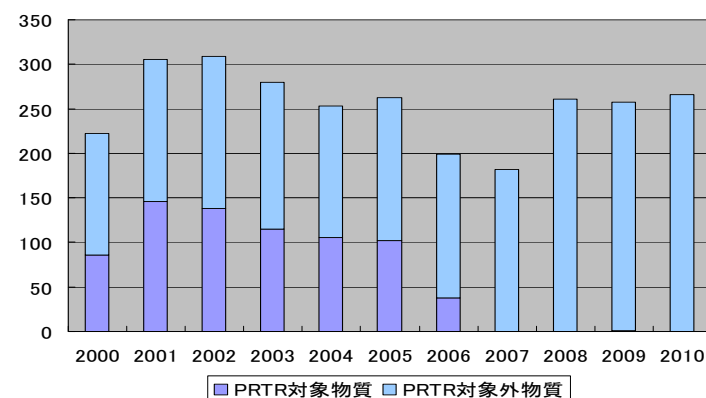
水の使用量(単位:千m<sup>3</sup>)



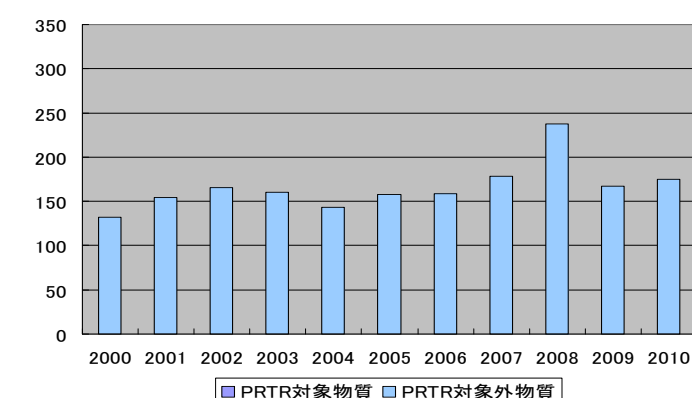
排水量(単位:千m<sup>3</sup>)



化学物質削減対象物質の取扱量(トン)



化学物質削減対象物質の排出量(トン)



主な化学物質: 水銀、酢酸ブチル、エチルアルコール

## 遵法管理状況

### <大気測定結果> (対象施設無し)

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	対象外	対象外	対象外	対象外
SOx(Nm3/h)	対象外	対象外	対象外	対象外
ばいじん(mg/Nm3)	対象外	対象外	対象外	対象外

### <排水測定結果> 河川(工業団地共同暗渠～姿川～渡良瀬川～利根川・江戸川)へ放流

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.8～8.6	6～8	7.6	1回/1ヶ月
BOD(mg/ℓ)	25	20	1.8	1回/1ヶ月
COD(mg/ℓ)	25	20	3.0	1回/1ヶ月
SS(mg/ℓ)	50	40	1.6	1回/1ヶ月
窒素(mg/ℓ)	120	20	7.1	1回/2ヶ月
フッ素(mg/ℓ)	8	1	<0.2	1回/2ヶ月

### <騒音・振動測定結果> 特定施設 (騒音:49台、振動:14台)

	測定場所・時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	75以下	75以下	56	1回/年
	敷地境界:夜	60以下	60以下	54	1回/年
振動(dB)	敷地境界:昼	65以下	65以下	36	1回/2年
	敷地境界:夜	60以下	60以下	34	1回/2年

### <その他測定結果> (地下水:主な測定結果)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
トリクロロエチレン(mg/ℓ)	0.03	0.03	<0.001	1回/年
四塩化炭素(mg/ℓ)	0.002	0.002	<0.0002	1回/年
テトラクロロエチレン(mg/ℓ)	0.01	0.01	0.0016	1回/年
1,1,1-トリクロロエタン(mg/ℓ)	1.0	0.3	0.0006	1回/年
総水銀(mg/ℓ)	0.0005	0.0005	<0.0005	1回/年
鉛(mg/ℓ)	0.01	0.01	<0.005	1回/年

### <環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし